

セミナー報告

令和2年12月15日、みらい棟ギャラクシーにて院内の職員を対象とした認知症セミナーを開催しました。精神科薬物療法認定薬剤師 曾田薬剤師より「みんなで考えよう!!頓服使用時の注意点~(たぶん)日本一敷居の低い精神科薬物講座~」という演題でご講演いただきました。

今回は新型コロナウイルス感染症の予防対策にて認知症疾患医療センターでは初めてのZOOMを使用したオンラインでの開催となりました。初めての試みにも関わらず54名と多数のご視聴をいただきました。

参加者内訳

医師	2
薬剤師	4
看護師	30
MSW・PSW	4
栄養士	2
事務職員	2
不明(名前が特定できない方)	10
計	54

※同じ画面を数名で視聴されている方もあり。



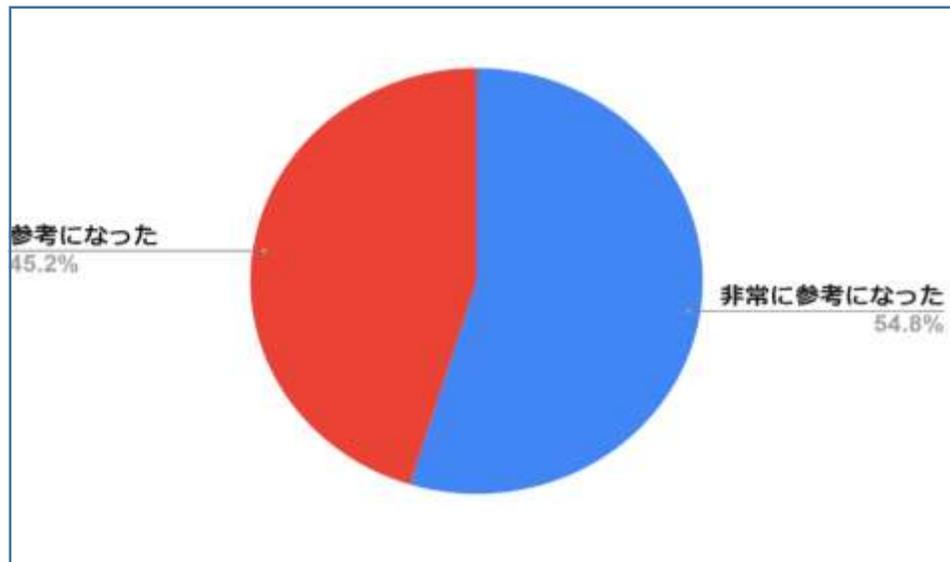
センター長挨拶



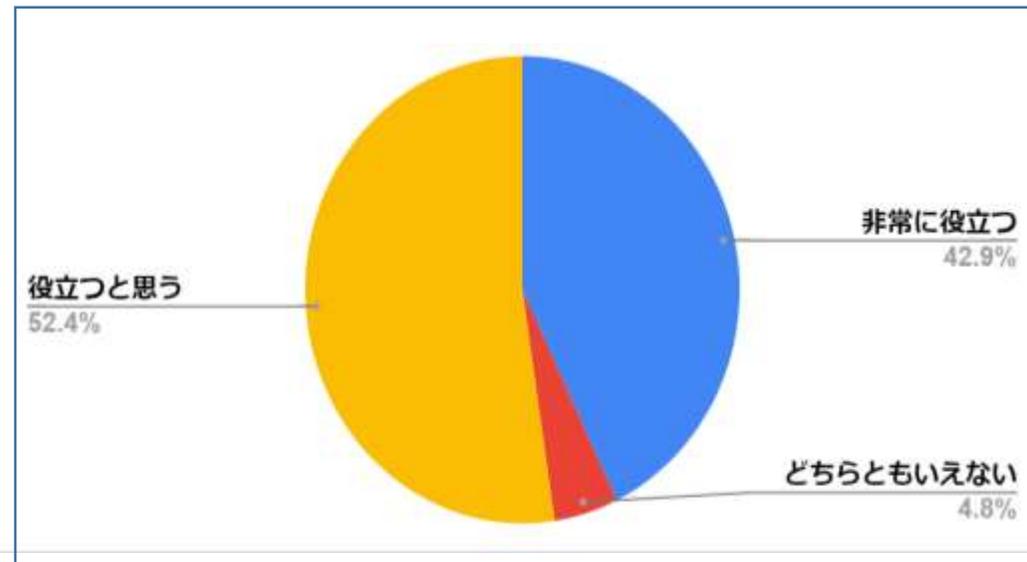
講義の様子

アンケート結果（43名の方からご回答いただきました。回答率79.6%）

セミナーは参考になりましたか



今後の実践に役立ちますか



<理由>

- ・症例があり具体的で分かりやすかった。
- ・医療職でなくても分かりやすかった。
- ・身近な内容であった。
- ・向精神薬、抗精神病薬について理解することができた。
- ・どの薬剤がせん妄をおこしやすいのかなど初めて知ることもあった。

<理由>

- ・非常に実践に即した内容だった。
- ・高齢者の朝方や夜間排泄行動時の転倒予防に生かせると思う。
- ・観察ポイントや声掛けなどの参考になった。
- ・頓服使用の際実践していきたい。
- ・薬の選択が分かる。

※どちらともいえないを選択した理由

- ・現在病棟勤務ではないため直接患者さんの対応はできない。

参加者からのコメント（抜粋）

◆日頃認知症の患者さんについて悩まれていることや困っていること

- ・転倒防止のために対応等でアドバイス、相談できる窓口があると安心。
- ・認知症患者の痛みや苦痛の評価が難しい。
- ・せん妄か認知症か判断が難しい。

◆セミナーや認知症疾患センターに対する意見・要望

- ・患者さんを観察する上で必要な知識を得ることができた。
- ・薬の種類や効果、使い方など教えていただき、臨床で使用する際の参考になった。
- ・今回得た知識は看護職の教育等の場面で活用できると思う。
- ・同じ内容を繰り返し行ってほしい。

◆今後取り上げて欲しいテーマや知りたい情報

- ・意思決定支援
- ・社会支援、地域との連携
- ・せん妄と認知症
- ・認知症の人を持つ家族への関わり方
- ・BPSDについてとその対応

今後の取り組みについて

今回オンラインのため在宅でも講演を視聴することができ、普段家庭の事情などにより参加ができなかった方もご視聴頂けたようです。今後もこのような形をとりつつ、たくさんの方に参加いただけるセミナーにしていきたいと思っております。

ご意見・ご要望から認知症患者さんに対していろいろな悩み・困難を感じながら対応されていることが分かりました。そして今後取り上げて欲しいテーマについてもたくさんのご要望をいただきました。その中に勉強会を定期的で開催して欲しいという意見があり、今後検討していきます。ZOOMでの声が聞こえにくかったという意見がありましたので改善していきます。